



11月18日	は同園標本数1万点に。教嗣ご就任後もご親教の寸暇を利用し山野で植物採集。名譽園長ご就任(平成5年2月)まで23年間園務をつとめられる 出雲火のご用70周年記念祭典で出雲大社へ。田中緒琴家元とともに八雲琴「菅搔曲」「出雲語」「琴の由来」をご奉納	52年3月 5月19日	茶名「宗緒」をうけられる 祭務部奏楽課長に 本部奏楽講師に 第1回みろく顕現祭・大本歌祭がニューヨーク聖ヨハネ大聖堂で執行され、祭典で伶人にご奉仕、歌祭では舞姫を	60年2月3日 61年5月18日	長生殿御造管推進委員会顧問に 聖師・二代教主出雲ご巡教40周年記念として、舞囃子「西王母」を出雲大社神楽殿でご奉納
47年6月	ペンネーム「花明山その」で草木に関する随想を「おほもと」誌にご執筆。人類愛善新聞(ハナかおり)を含め、平成4年12月まで20年間にわたって長期連載される	54年4月6日 55年5月10日	海外演能委員会委員に 第2回みろく顕現祭がニューヨーク聖ヨハネ大聖堂で執行され、伶人にご奉仕 教主ご名代として能「羽衣」ご奉納 英国カンタベリー大聖堂で教主ご名代として能「羽衣」ご奉納	63年1月 3月6日	三代教主代行となる(「教主代行」ご在任2年8カ月) 教主代行初のご親教として口丹波主会管下へ、27日まで(※この後、教主代行ご在任中、全国18地方機関をご親教になる 北陸本苑設置30周年記念春季大祭へ。祭典ご臨席後、舞囃子「西王母」をご奉納 オランダ・ロッテルダムで開催の第73回世界エスペラント大会に大本参加団名誉団長としてご参加になる。大本分科会で八雲琴「振放曲」をご演奏 聖師さまご来道60周年記念あしわけ大祭へ。祭典ご臨席後、舞囃子「西王母」をご奉納
49年4月1日 7月3日	教主館(緑寿館)造管委員に オランダ・ロッテルダムで開催された海外作品展に大本青年文化使節派遣団相談役としてご参加、八雲琴を演奏される。5日まで	56年1月1日 57年5月 29日	神苑整備委員会委員に 教主継承者(教嗣)となる 第3回みろく顕現祭がニューヨーク聖ヨハネ大聖堂で執行され、伶人にご奉仕。祭典後、仕舞「桜川」をご奉納 教嗣初のご親教として出雲路へ。以後、教主ご名代として全国各地をご親教 三諸齋・聖子さまご夫妻、三代教主・教主補さまのご養子に。出口姓となられる	5月15日 7月25日	【平成】 元々3月27日
50年3月15日	米国で初の海外作品展がニューヨーク聖ヨハネ大聖堂で開催され、舞囃子「西王母」と小鼓の連調「高砂」を、また田中緒琴家元らとともに八雲琴「高倉山」をご奉納	9月27日	教嗣初のご親教として出雲路へ。以後、教主ご名代として全国各地をご親教 三諸齋・聖子さまご夫妻、三代教主・教主補さまのご養子に。出口姓となられる	8月7日	
10月20日	国連創立30周年記念第5回世界精神頂上会議(TOU)奉告祭が聖ヨハネ大聖堂で執行され、伶人をつとめられる。23日のTOU会議では国際婦人年記念のパネル討議で教主ご名代として「女性によって創始され、女性によって導かれ、世界の文化と平和に貢献しようとする大本」と題し、英語でスピーチ	11月27日 58年7月31日 8月29日	ファイリピンの大本マニラ支部大神鎮座祭へ。8月4日まで 南太平洋・ポナペ島の愛善農園旧跡碑建碑式へ。9月3日まで	9月15日	「大本はたば(機場)」が完成し、機織り始めをされる(梅松苑)。その後、長生殿・老松殿神殿の壁代、戸帳、御簾、神旗のほか、功勞者用にお守り袋、み手代袋などを織られる 聖師皆神山ご入山60周年記念秋季大祭へ



9日	大本エスぺラント普及会創立70周年記念式典（綾部市）を開催（名誉会長）。茶道裏千家元鵬雲斎宗匠による献茶式（綾部市・長生殿）。	9月6日	しい「神の家」の建設が進む 京都新聞で教主さまへのインタビュー記事「祈り込め―独自の平和運動」が掲載される	9年	典へ。岡山本苑秋季大祭で記念植樹も行なわれる。25日まで 春―無農薬をめざす稲作が大本神饌田で始まり、田植え、稲刈りに自らご出仕になる
10月	「世界宗教者の祈りとフォーラム」を長生殿で開催、代表呼びかけ人となられる	24日	出雲本苑設立10周年記念秋季大祭へ。26日まで	4月	教団は「遺伝子組み換え作物の食品表示を求める声明文」を厚生大臣に送付。
11月	天恩郷月次祭後、祭典伶人とともに八雲琴「出雲新嘗」ご奉納	10月28日	聖師古岡発言50周年記念鳥取本苑秋季大祭へ。30日まで	4月26日	奈良岡の家別院開設30周年記念大祭へ。27日まで
12月5日	「出雲新嘗」ご奉納	11月5日	第1回全国愛善歌奉納大会へ。善言美詞の愛善歌を歌うことの大切さ、歌詞内容のすばらしさ折々に話され、愛善歌合唱の気運を盛り上げられる	5月2日	教団本部は臓器移植法案に関する要望書を政府に提出
6年5月4日	みろく能で舞囃子「葛城」をご奉納	11月16日	松香館が自らのご発意による初の建物として完成	5月28日	大本資料館に筆先など根本教典、お作品等の収納が終わり、館内をご視察になる
10月9日	青年部発足30周年記念式典へ	8年4月6日	聖師ご巡教80周年記念祭（走水神社・横須賀）へ。8日まで	6月14日	「臓器移植法案に対する願い」文を発表。
11月6日	梅松苑信徒会館（松香館）地鎮祭へ。自主献金をすすめられる	5月3日	第2回全国愛善歌奉納大会で出口家合唱団アンジェーロの一員として愛善歌をご奉納。	17日	教団本部は「臓器移植法案」参院審議前に緊急記者会見し反対表明。
12月4日	天恩郷月次祭後、祭典伶人とともに八雲琴「神の都」をご奉納	5月23日	鉢伏山開き50周年記念祭典へ	8月4日	臓器移植法案の衆参両院可決をうけて「臓器移植法に対する反対声明」発表
25日	尊師三年祭（老松殿）で祭典伶人とともに八雲琴「宮の辻」をご奉納	6月20日	日本宗教連盟創立50周年記念式典へ（東京）	11月29日	比叡山宗教サミット10周年記念「世界宗教者平和の祈りの集い」へ（比叡山延暦寺）
7年1月	「阪神大震災で災害救援対策本部を設置。救援物資について指示	7月8日	国見山遥拝所設置50周年記念杵島冠島遙拝祭へ		大本教主として初の南米ご親教。南米本部功労者・物故者合同慰霊祭、愛善堂建設40周年記念大祭ご臨席、舞囃子「胡蝶」をご奉納。そのあと南米本部管下全12支部2会合所へご親教。飛行機などを乗り継ぎ、11日間でブラジル国内1万キロ余をご移動、信徒419人とご面会になる。
2月19日	還暦を迎えられる	8月8日	愛善みずほ会「DONO」新装開店式へ。愛善みずほ会運動の重要性を繰り返しおのべになり、同運動を復興される		ご移動、信徒419人とご面会になる。12月23日まで
3月17日	初の琉球主会管下ご親教で、各支部のほか第二次世界大戦殉難者慰霊祭へ。20日まで	8月27日	日本宗教者会議設立会議へ。教主さまは名誉顧問になられる		
5月3日	教主還暦慶祝梅松祭・三代教主教主補聖誕祭で八雲琴「天津少女」をご奉納	9月8日	神島開き80周年記念祭典へ。記念植樹も行なわれる		
6月4日	「教主ごあいさつ集」(一) 刊行	11月22日	笠取神社「神恩洪大」碑建立20周年記念祭	10年	特にこの年から、教団内における脳死臓器移植に関する研鑽が進み、反対運動が活発
7月8日	開祖杵島ごもり平和祈願90周年記念祭典へ				
9日	大阪本苑完成奉告祭へ。こののち各地で新				

		化する。四代さまは「かつての原水爆反対運動以上に大きな平和運動である」とおっしゃり「科学の暴走」を警告し、全信徒の先頭に立つてこの運動を強く推し進められた							
1月28日	30日	教主さまへのインタビュー「科学の暴走を憂う」が産経新聞夕刊に掲載される 教団本部は臓器移植法に関して政府へ要望書提出	10月	殿神前で署名第一号となられる 京都市内で初の脳死臓器移植反対署名街頭活動を実施、以降全国で署名活動を展開 聖師皆神山ご入山70周年記念秋季大祭へ。 29日まで	8月29日	鶴山窯（鶴山工房登り窯）火入れ式へ。32年ぶりの窯焚きを喜ばれる ニューヨーク国連本部で開催された宗教指導者らによるミレニアム世界平和サミット「国連宗教者平和会議」でスピーチ（廣瀬麻子教主名代代読）、生命倫理諸問題について宗教者の奮起を促される 神島遥拝祭へ			
4月18日	30日	宮原山開き70周年記念祭典へ。21日まで 教団本部はインドの地下核実験に対して抗議声明文送付。29日パキスタンの同実験に対しても抗議声明文送付	11月6日	静岡市内での脳死臓器移植反対街頭署名活動にお出ましになる 少女時代に採集された植物標本が白梅殿で展示される（大本開祖大祭）	9月8日 9月29日	宮城分苑設立記念秋季大祭へ。10月2日まで。最後の親教となる 大阪市立総合医療センターにご入院。その後大本開祖大祭（11月6日）、開祖聖誕祭（12月16日）、尊師毎年祭（12月25日）、梅松苑新年祭（1月1日）ご臨席のためお帰りになる			
5月25日	6月17日	京都市内で初のノン・ドナーカード配布街頭活動。以降全国各地で活動を展開	11月	神戸本苑秋季大祭・完成奉生祭へ。21日まで 教団は脳死移植反対署名41万4567人分を厚生省に提出	10月4日				
7月18日	8月21日	伯耆分苑設立・大山農場50周年記念祭へ。 19日まで 聖師ご来道70周年記念あしわけ大祭へ。 24日まで	12年2月 3月13日 19日	綾部市・エルサレム市友好都市宣言署名式へ。 北陸・神聖苑の木の桜植樹式へ 筑紫本苑昇格30周年記念春季大祭へ。20日まで 長周分苑設立記念春季大祭へ。27日まで 近江本苑設置20周年記念春季大祭へ。11日まで	10月16日	教団本部は「脳死移植に関する法律の見直しに関する要望」と脳死・臓器移植反対署名「総数87万1571人」を厚生省に提出 『教主ごあいさつ集』（二）が刊行される			
10月10日	10月16日	梅松苑開設30周年記念祝賀会へ 熊本本苑秋季大祭・道明殿「完成奉生祭」へ。 19日まで	25日 4月9日	13年1月1日	31日	新春を梅松苑でお迎えになり、新年祭で年賀のあいさつをおうけになる。 ご退院。節分大祭ご臨席のあと2月6日天恩郷へ。2月21日再入院される 廣瀬紅さま、教嗣（教主継承者）に。出口姓となられる			
11月14日	21日	北陸本苑設置40周年記念大祭へ。16日まで 東京本部開設30周年記念東京歌祭へ。22日 東光苑秋季大祭にご臨席	5月3日 4日	教主生誕祭で八雲琴「木の花」をご奉納 出口聖子（花明山その）著『草木によせて』が刊行される みろく能で仕舞「難波」ご奉納	4月22日 28日	出口紅教嗣ご臨席のもと、開祖岩戸ごもり百年記念弥仙山参拝 午前11時16分大阪市立総合医療センターで昇天。享年66歳			
11年4月8日	11日	上谷幽斎修行百年記念参拝へ 京都本苑開設30周年記念大祭へ	6月23日 7月8日	伊勢神宮外宮・香良洲神社に正式参拝される 杵島・冠島開き百周年記念参拝へ（国見山遥拝所）	4月29日				
5月4日	5月5日	みろく能で仕舞「東北」ご奉納 脳死臓器移植反対署名活動はじまる。長生	25日	エルサレムで大本祭式による世界平和祈願祭を執行					